

GENERAL RESEARCH

新元号に関する意識調査

2019.4.24 Wed



新元号「令和」における意味の認知度は 62.3% という結果に。 昭和、平成と様々な出来事を経験した方が「令和」にかける願いとは・・・？

この度、ゼネラルリサーチ株式会社（代表取締役：五條 寿朗、本社：東京都渋谷区）は、「新元号に関する意識調査」を全国の 20 ～ 60 代男女 1,126 名を対象に実施いたしました。

2019 年 4 月 1 日に新元号「令和」が発表されてから約一ヶ月、聞きなれない言葉にいまいちピンとこなかった方も様々な関連商品やイベントですっかり馴染みあるものになってきたのではないのでしょうか。

この度の新元号「令和」は、奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集「万葉集」を典拠としており、日本で記された国書に由来する元号は、645年の「大化」から数えて確認できる限り初めてとなります。そんな元号改元のタイミングで、未来に向けた初物として様々な「元号商戦」が繰り広げられる中、皆さんは「令和」の時代に何を期待しますか？また、平成にやり残したことはありますか？

今回は、1,126 名の全国 20 ～ 60 代の男女を対象に、「新元号に関する意識調査」を実施しました。

◆詳細はこちら：<http://general-research.co.jp/report10/>

調査結果のポイント

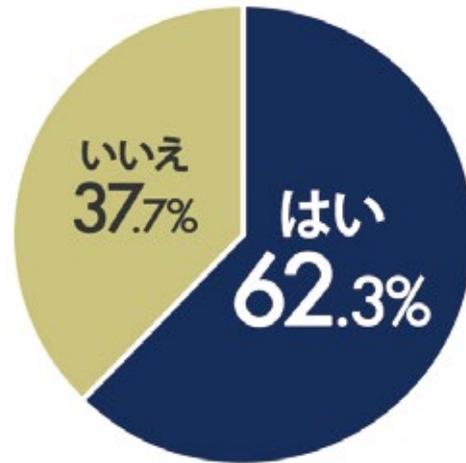
1. 令和のイメージと意味の認知度
2. 令和の時代への願い
3. 平成の時代にやっておきたかったこと、やり残したこと
4. 昭和、平成の時代で印象に残ったこと

次のページへ続く

< 調査 1 > 令和のイメージと意味の認知度

令和には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているとされていますが、どれくらいの方が「令和」の意味をご存知なのでしょうか。また、今現在どのようなイメージを持たれているのでしょうか。

令和の意味をご存知ですか？



《調査概要：「新元号」に関する意識調査》

・調査日：2019年4月12日（金）～2019年4月13日（土）
・調査方法：インターネット調査
・調査人数：1,126名
・調査対象：全国の20～60代男女
・調査主体：ゼネラルリサーチ

< 図 1 >

令和と聞いてどのようなイメージが湧きましたか？



《調査概要：「新元号」に関する意識調査》

・調査日：2019年4月12日（金）～2019年4月13日（土）
・調査方法：インターネット調査
・調査人数：1,126名
・調査対象：全国の20～60代男女
・調査主体：ゼネラルリサーチ

< 図 2 >

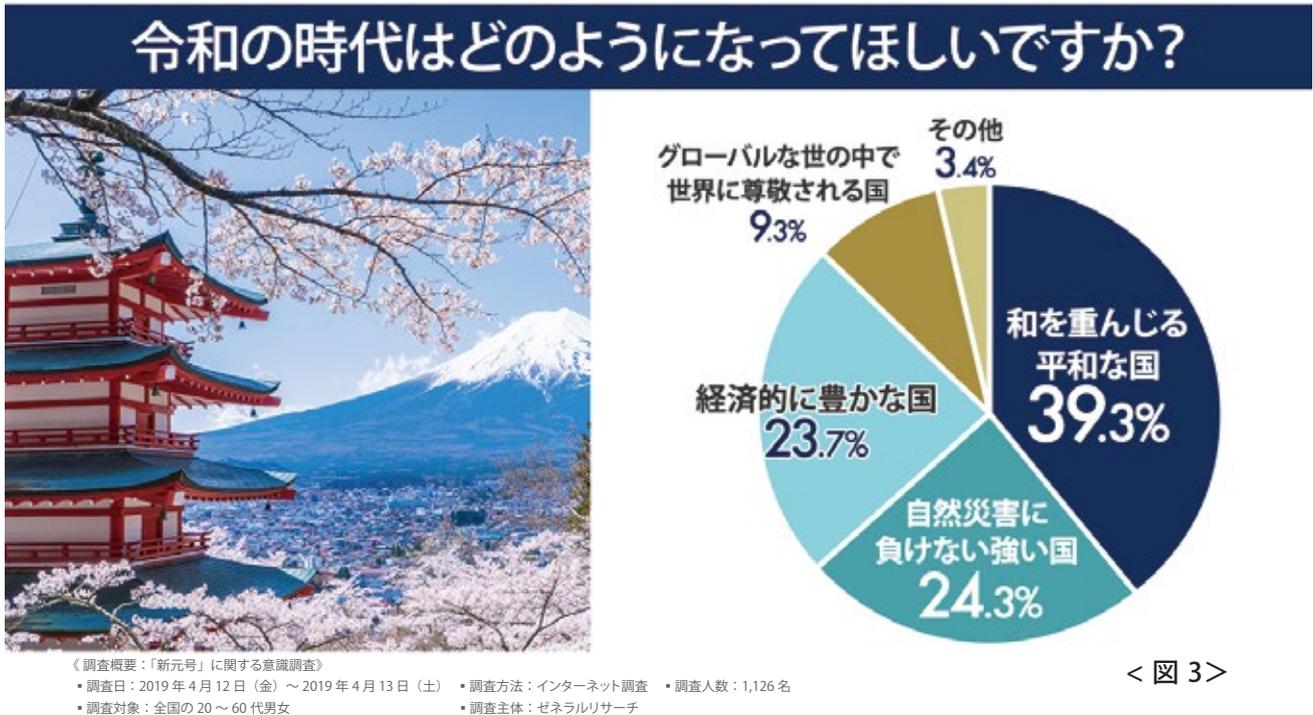
「令和の意味をご存知ですか？」と質問したところ、6割以上の方が「はい」-62.3%と回答されました。また、「令和と聞いてどのようなイメージが湧きましたか？」という質問に対し、「平和」-46.2%という回答が最も多く、次いで「礼儀を重んずる」-26.9%、「協調性」-12.9%、「譲り合いの精神」-3.6%と続きます。

< 調査 2 > 令和の時代への願い

大正、昭和、平成と、近代においてはそれぞれの時代を象徴するような出来事が多々あります。それにより、「あの時代は激動の時代だった」、「この時代で生活が一変した」などと総括されます。

それを受けて、過去の時代に対して「令和」にはどのような願いをかけているのでしょうか。

下記のグラフをご覧ください。



「令和の時代はどのようになってほしいですか？」という質問に対し、「和を重んじる平和な国」-39.3%という回答が最も多く、次いで「自然災害に負けない強い国」-24.3%、「経済的に豊かな国」-23.7%、「グローバルな世の中で世界に尊敬される国」-9.3%と続きます。

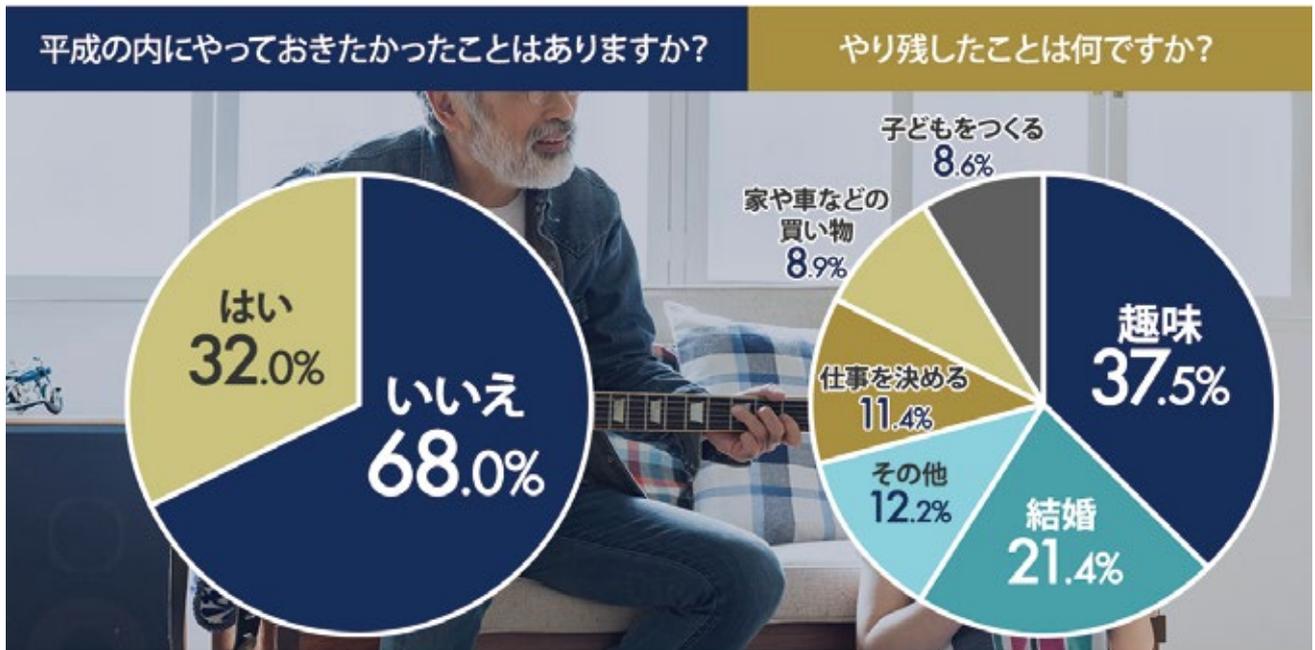
平和であることはどの時代においても最も尊いこととされており、それは令和の時代においても変わらないでしょう。また、日本は過去数十年で多くの自然災害に見舞われています。このことから多くの方はそうした自然災害が起きないことを願った結果といえるでしょう。

< 調査 3 > 平成の時代にやっておきたかったこと、やり残したこと

新時代を迎えるにあたり、清々しい気持ちで迎えたいという方は多いのではないのでしょうか。年末には、何かやり残したことはないか、やっておきたかったことはないかと振り返り、新年への反省とします。

今回の元号改元で、平成の時代にやり残したことはあるのでしょうか。

下記のグラフをご覧ください。



《調査概要：「新元号」に関する意識調査》
 ・調査日：2019年4月12日（金）～2019年4月13日（土） ・調査方法：インターネット調査 ・調査人数：1,126名
 ・調査対象：全国の20～60代男女 ・調査主体：ゼネラルリサーチ

< 図 4 >

「平成の内にやっておきたかったことはありますか?」と質問したところ、3人に1人が「はい」-32.0%と回答しました。

「やり残したことは何ですか?」と質問したところ、「趣味」-37.5%という回答が最も多く、次いで「結婚」-21.4%、「仕事を決める」-11.4%、「家や車などの買い物」-8.9%、「子どもをつくる」-8.6%といった意見が続きます。

《調査概要：プレミアムフライデーに関する意識調査》
 ・調査日：2019年2月9日（金）～2月12日（月） ・調査方法：インターネット調査 ・調査人数：1,258人
 ・調査対象：全国20～60代の男女 ・調査主体：ゼネラルリサーチ

< 図 6 >

< 調査 4 > 昭和、平成の時代で印象に残ったこと

最後に、直近の時代である「昭和、平成の時代で印象に残ったこと」を調査しました。
下記のグラフをご覧ください。



《調査概要：「新元号」に関する意識調査》

・調査日：2019年4月12日（金）～2019年4月13日（土） ・調査方法：インターネット調査 ・調査人数：1,126名
・調査対象：全国の20～60代男女 ・調査主体：ゼネラルリサーチ

< 図 5 >

■平成で一番印象に残った出来事を教えてください。

- 東日本大震災
- 阪神・淡路大震災
- SMAP 解散
- オリンピック
- 地下鉄サリン事件

■昭和で一番印象に残った出来事を教えてください。

- バブル景気
- 新幹線開通
- 高度経済成長
- 大阪万博
- 3億円事件

平成に生まれた方でも30代の方が出始め、昭和の記憶が薄れつつある中で、平成と昭和の時代で印象に残った出来事において上記の意見が多くみられました。



今回は、「新元号に関する意識調査」を実施致しました。

時代の移り変わりにおいては多くの方が様々なタイミングで、たくさんの方に区切りをつけようとするのがわかりました。

また、これから「令和」の時代に生まれてくる子どもたちには、昭和や平成といった時代の素晴らしい歴史を学び、これからの時代に活かしていただきたいと思うのは、昭和、平成を経験してきたからこそその願いなのではないでしょうか。

今後も引き続き新元号に関しての調査を継続してまいります。

調査概要：「新元号」に関する意識調査

調査日	2019年 4月12日(金)～2019年 4月13日(土)
調査方法	インターネット調査
調査人数	1,126名 ※本リリースにおける調査結果は少数第一位で四捨五入
調査対象	全国の20～60代男女
調査主体	ゼネラルリサーチ